佐久市協働のまちづくり推進会議　会議記録（要旨）

日　時：令和８年７月２３日（木）
９：３０～１１：４０
場　所：佐久市役所　議会棟第３委員会室

出席者：佐久市協働のまちづくり推進会議委員１０名
事務局（企画部長・広報広聴課長・広報広聴課職員）４名

１　開会

２　会長あいさつ

３　会議事項
（１）令和７年度佐久市まちづくり活動支援金優良事業審査について
ア　令和７年度に佐久市まちづくり活動支援金の交付を受けた７事業の審査
イ　事務局より優良事業表彰に係る内規及び審査基準、審査の流れ等について説明
ウ　事務局から事業概要及び実績報告について説明
エ　審査
次の順で審査
①　移住者と地域住民とのつどいの場
委員：毎回、茶道は実施していたのか。
事務局：茶道だけではなく、多彩なプログラムを提供し、地域住民との交流を実施した。
②　こどもまんなか　夢みる学校プロジェクト
委員：福祉的観点から重要な取組であるが、補助金に頼らない自立・継続性の確保が課題であるため手厚い支援の継続が望まれる。
③　食・農・環境が台所につながる「MINORI キッチン」
④　モンゴル伝統民族楽器馬頭琴＆ピアノ出前授業朗読コンサート「スーホの白い馬」
委員：貴重な体験の場であるが、鑑賞にとどまらず児童との双方向の対話機会を増やす工夫や収支バランスの検討が必要と感じた。
⑤　市民の運動不足解消・生活習慣改善の促進事業
委員：定額利用で参加しやすいが、開催場所・時間が限定的であるため公益性の広がりや事業としての自立が難しいのではと感じた。
⑥　子どもとママが自己肯定感を育み笑顔になれる居場所「ぬくもり絆プロジェクト」
委員：事業収入は具体的にどんなものか
事務局：賛助金のほかに、食材については寄付等していただき運営できたとのこと。
委員：こども食堂のような子どもたちの命を守るという活動に関しては、３年という期間を設けるのではなく、市が継続的に援助してあげるような形にしてほしいと切実に

思う。金額的な面でももちろんそうだが、告知という面でも市の方でどんどん協力してもらい、本当に必要な親御さんたちに情報が届くような形になればよいと思う。

⑦　歌って脳トレさんさんサロンの介護予防的及び引きこもり防止的音楽療法

委員：支援金としてはすごく少額だったが、とてもいい形で継続ができている事業。

委員：自立が難しい事業が多い中で、素晴らしいと感じた。地区を限定せず、佐久市全体に広げられるとより良いと感じる。

委員:今回支援金制度を初めて受けて、非常に少額だが継続できている点が良いと思う。

⇒審査終了、集計開始

（２）　佐久市まちづくり活動支援金事業審査(二次募集)について

ア　事務局より、審査の流れ等について説明

今回の審査は１件。審査員１人当たりの平均点数が 15 点に満たない場合は、予算の範囲以内であっても推薦は行わない。

重点テーマに該当する事業については、評価した点数の合計にそれぞれ５点を加算する。

イ　審査

事務局から事業概要についての説明を行ない、その後、質疑応答

審査事業は以下のとおり

①　望月助かりあいラボ

⇒審査終了、集計開始　（休憩５分程度）

４　その他　第三次佐久市協働のまちづくり計画について

（１）市民活動アンケート調査について

事務局：７月 21 日より、SNS や市公民館施設の窓口にてアンケートを実施している。

委員：質問が団体向けに見えるため、個人の立場でも回答しやすいよう注意書きをいれるなど標記を工夫してほしい。

【事務局より、優良事業審査の結果発表】

最優秀賞：　優秀事業の最上位事業　１件

●歌って脳トレさんさんサロンの介護予防的及び引きこもり防止的音楽療法

優秀賞：　審査基準を上回った事業　２件（５０音順）

●移住者と地域住民とのつどいの場

●子どもとママが自己肯定感を育み笑顔になれる居場所「ぬくもり絆プロジェクト」

【事務局より、佐久市まちづくり活動支援金事業審査二次募集の結果発表】

審査員１人当たりの平均点が１５点以上でであったため採択する

会長：それでは、事務局から説明のとおり、市へ推薦する。

（連絡事項）

・今後のスケジュールについて

佐久市協働のまちづくり活動支援金事業について、予算に残額があるため、８月から三次募集を予定している。

５　閉会